

# かくあれ人民新聞

読者のみなさま  
これからのお1000号も  
よろしくお願ひします

通過点としての一〇〇〇号をを迎え、人民新聞とは何であり、どうあるべきかがあらためて問われている。先の見えない時代だからこそあふれる主張や動きのなかから未来の萌芽をつかみ取る、視点と立場が問われているのだ。

読者のみなさんに一〇〇〇号記念投稿をお願いした。発刊当初からの読者、最近の読者、意味では人民新聞とは何かが反映されている。今号は意見特集。今回掲載できなかつた投稿は順次掲載してゆく。なお、紙面のスタイルを改良した。ご意見を乞う。

(編集部)

号以来のバックナンバーを見直しながら、「歴史的総括」についてあらためて考えていく。人民新聞の三〇年は、大学闘争に飛び込んでから現在に至る私自身の三〇年と、ちょうど軌を一にしている。

その間、だけでもいろんなことがあった。ベトナム解放闘争

社会主義がその全面的危機に直面している。小は個人レベル

の歴史的総括から、大は既成

の勝利、既成社会主義の無残な崩壊、そして今、勝利した資本主義がその歴史的総括、そし

て二世紀の人類の課題——資本主義の歴史的・実践的総括

に至るまで、課題は山の如く。

高度成長からバブルに乗つて、右から左まで「新たな時代」を解説するさまざまな評論やら理論やらが振りまかれ

てきた。が、それらはバブルの崩壊とともに文字通り泡の如く消えてしまつた。そのどう

しようもない軽佻浮薄(けい)つは、「歴史的に現実を捉え

いたる世界経済システムにつ

いても、その内実はドル一極

である。私たちの聞いもまた、

無数の人民の累々(るいり)るる屍と、多くの敗北や試行

錯誤の上にある。その当たり前の事実をあらためて胸に刻み込み、「現在」を捉え返し、そ

の上に立つて「未来」を展望する作業——「大衆政治新聞」として足腰を鍛えることを横軸

とすれば、縦軸として「歴史的総括」にも着実に取り組んでいきたいと思う。多くの同

志たちと協同しながら、未来をしつかり見据えて!

●前編集長・渡辺雄三

人民新聞創刊三〇周年と聞くと、世の中の進歩が非常に早く感じられます。それに比べて私が危惧しているのは、私たちの頭の中なり、自らが信奉している理論の枠組みとのズレについて無自覚な人たちは、いま世界的に問題になつて

いるグローバリズムと呼ばれる

か、ということです。

日本では七〇年代に、故・平田清明さんが、マルクスは一八六〇年代以降、多元的な社会発展論を追求してきたので

はないかと問題提起しています。ソ連共産党の歴史観をヨーロッパ中心主義として批判してきたサミール・アミンはMaldevelopment(開発病)(一九八七年)の中で、現行の世界経済システムに代わって多元的な世界経済システムを提倡しています。最近、国分国幸・岐阜経済大学教授著『テスボティズム』とアソシエーション構想(一九九八年、世界書院)が出版され、その中で「先行する諸形態」などの研

究を通して、マルクスの社会発展論が必ずしも一元論ではないことを明らかにしてお

り、私は意を強くしています。

人民新聞は多元的な社会を自指す抑圧者の運動の導

き手としての役割を果して

います。

だが、私たちが教えられて

きたマルクス主義は一元論で

あり、多元論は折衷主義、観念論と教えられました。こ

の現実と理論の乖離を、運動

によっては、その内実はドル一極

である。私たちの聞いもまた、

無数の人民の累々(るいり)るる屍と、多くの敗北や試行

錯誤の上にある。その当たり前の事実をあらためて胸に刻み込み、「現在」を捉え返し、そ

の上に立つて「未来」を展望する作業——「大衆政治新聞」として足腰を鍛えることを横軸

とすれば、縦軸として「歴史的総括」にも着実に取り組んでいきたいと思う。多くの同

志たちと協同しながら、未来をしつかり見据えて!

●編集部・山田洋一

流行のインターネットによ

る情報流通が動画・音声も取

り込んで、いくら高度に発達

する。それが、今後ますます強

くなる。今後ますます強



## ヘソ曲がりの独り言

..... 大阪・縄文人

S「意見投稿」というには

チトおこがましいですが……呵々

1000号記念、おめでとうございます。地球自転スピードが早くなった感がある昨今。世上「石の上にも三年」とか申しますが、よくぞ今までがんばってこられたもんやと、小生感服しておる次第です。

本当にケッタイな世の中にならきましたねえ、色狂いのド助平クリントン大統領の電話1本で、トマホーク何百発がイラク国民を襲うのです。これが「正義の発露」やそうですから勝手ですのに、当アメリカ合衆国日本州のお役人様方は、そんなクリントン閣下を支持なさるそうですから、小生アホらしくなりましてねえ……只今、日本国籍を離脱して縄文國に転籍すべく手続き中であります。呵々。

毎日々々、妙な人殺しのニュース聞かぬ日なき目を覆う堕落社会、昔人間の小生、「長生きすれば恥多し」でねえ、最近つくづくと嫌気がさしております、「昔の方が良かったなあ」……と。近所に買い物にでかけるのに鍵などかけたことがなかった、あの良き時代の話ですが……。

一家にエアコン5台、テレビ4台が当たり前の、「限りある地球上の資源」を頭から無視した超浪费社会、益々、深刻さを増す環境破壊問題、ダイオキシン、環境ホルモンetc.その影響受けた男性の精子半減等々を、平然と伝えるマスコミさん方の神経を疑う昨今です。呵々。

神聖な宇宙までゴミをまき散らしに行くのが「人類の進歩」やと大はしゃぎのバカ人類、勝手がりの小生どうかと思いますなあ。アホもエエとこでっせ！「宙返り 何度も出来る 無重力 それがどうした なんぼのもんじや」でねえ、誰があんな狭い箱の中で一生過ごしたいと思いまんねん。アホでっせ！呵々。

「失業 失業」言いまっけどな、ブルやユンボ使うの止めて、昔みたいにツルハシ、スコップの人海戦術で全土建工事やらせば、西成のアブレニコヨンも一掃できませんね。乏しい仕事も皆で分け合って仲良う食うてきたのが我々昔人間の知恵だったのに、「他人をハネのけても己だけが」のエゴ主義がはびこるようになって、ますます世の中住みにくくなってしまった。小生「アホか！」思いまんなあ、実にクダラン。インターネットや携帯電話にテレクラ、伝言ダイヤルみたいなアホなもん流行らすさかいにケッタイな事件が続発しまんねんやがな！これが「進歩」でっか！昔人間の小生、最近ウンザリしてまんね。ホンマ！人間てのはアホでっせ！呵々。

縄文人 独白

## 人民新聞よ その日の為に 体を鍛えておけ

●兵庫・W H

昭和六（一九三二）年に生まれましたが、三日前に満州事変が始まっています。それから五年戦争の中で大きくなり、空襲で神戸の家も五六軒焼かれ、今は田舎に住んでいます。しかし今のところは年金も出るし、戦死者や中國残留孤児に比べれば恵まれた一生だったと思います。敗戦後五三年が過ぎました。

「人民新聞」も二〇才。よく「左翼」以来三〇周年は、「共産党宣言」一五〇周年の五分の一にあたるわけですから、たいたるものであります。社会主義体制が崩壊した一〇〇〇号記念を力に、祝賀に便乗して自家宣伝を行つてきました。一つ。一月二十五日の「産経新聞」に「九〇点目のいいだワールド」という紹介記事がのりました——「いいださんの編

ソ連が崩壊し、アメリカ一国支配が確立したように見えますが、その最強国のトップがうら若い女性にひつかかるのですから、人間という動物も結構おもしろいもので。もっとも、彼が核のボタンを握っているというのも恐ろしい現実ですが……。

今年からヨーロッパではユーロが通用し始めました。

経済的統一が政治的統一となり、イギリスの王制が消える日も遠くないでしょう。アジアでも円を統一通貨にという声が上がつてきました。天皇制も「天壤無窮」という

「人民新聞」一〇〇〇号記念をおめでとう。なにしろ、「新左翼」以来三〇周年は、「共産党宣言」一五〇周年の五分の一にあたるわけですから、たいたものであります。社会主義体制が崩壊した一〇〇〇号記念を力に、祝賀に便乗して自家宣伝を行つてきました。一つ。一月二十五日の「産経新聞」に「九〇点目のいいだワーランド」という紹介記事がのりました——「いいださんの編

うです。ひろし・ぬやまの詩『の日の為に体を鍛えておけ』をモットーに、腰を据えた活動を期待します。

## 革命の力は継続にあり

●東京・いいだ もも

# かくあれ人民新聞 私は希望します

著は、六一年刊『斥候よ夜はなお長きや』(角川書店)に始まり、『サヨナラだけが人生か』

が変わる』という本を緊急出版します。四月二十五日(東京・全電通会館)で旗上げする『ア

ー世紀末、世界が変わる、私

が変わる』という本を緊急出

版します。四月二十五日(東京・

全電通会館)で旗上げする『ア

ー世紀末、世界が変わる、私

が変わる』という本を緊急出

版します。四月二十五日(東京・

# かくあれ人民新聞 私たちにはこれからも聞いています

わざと自信を持つて

●青森・中村亮嗣

「出口なき不況、リストラ。首切り、政策も理念も展望もなく離合集散を繰り返す政党……」と御紙記事の中にあります。今まで、これらの政党を支えたのは国民であり、我々も半分責任があるので

は、と思うこの頃です。この機会こそ相手ばかりに責任をなすりつけることなく、各個人がそれぞれの立場で厳しく今後の行き方を考える必要がでてきました。その一つとして、何でも他人に合

私の意見、要望

●兵庫・カミツクダイサム

る生活を望む人は、漢文を習ったことがない人でも、時間を使って一字一字ゆっくりと理解してゆくようになりました。

学は、この考え方についてい

ると思います。今後世界の平和と環境を守り豊かな希望あ

る人を、この考え方で育んでいきたいと思います。

日本赤軍がダッカ事件以

て後、日本国内向けに連帯呼び

かけの文書宣伝活動を、人民

新聞などを通じて続けていた

頃、あれは一九七七年秋だつ

たと思ふが、私は東京で初め

て人民新聞を見た。その後関

西に移り、七九年五月、貴島千

代彦先生(当時、高槻市の光愛

病院理事長)に勧められて繼

続購読者になつた。

人民新聞の特色は、読者が

「いま伝えたいこと」いま言

いたいこと」などの投稿内容

を編集部が取捨選択しない

で掲載することにある。しか

も字数についても規定はない

が、多い場合は紙面の都合に

よつて連載する、と思つてき

た。編集部においてある程度

それが基本として一貫してい

た。編集部によると「より多くの

投稿を掲載するため、字数に

ついては四〇〇字を目安に

……とあつた。さらに「言い

たことを四〇〇字に凝縮し

て……と、念を入れていた。

一 文字を縦書きから横書き

にしていただきたいことで

す。理由は読みやすく算用数

字は一目瞭然なことです。

二、できるだけ専門用語は避け

ることです。それと文書は、

文語体ではなく、口語体で編

集していただきたいことで

す。

三、読んでおもしろいため

になる、よくわかる、堅苦しく

素後約、等です。

料代・時間のやりくりなどに思つてている人が多いと

います。しかし、今まで住民費やされてかかわりたくない

料代・時間のやりくりなどに思つている人が多いと

います。しかし、今まで住民費やされてかかわりたくない

料代・時間のやりくりなどに思つている人が多いと

います。しかし、今まで住民費やされてかかわりたくない

料代・時間のやりくりなどに思つている人が多いと

います。しかし、今まで住民費やされてかかわりたくない

料代・時間のやりくりなどに思つている人が多いと

います。しかし、今まで住民

費やされてかかわりたくない

料代・時間のやりくりなどに思つている人が多いと



